



■左のQRコードで東京25ジャーナルにアクセスできます。

「寒い檜原来る人いない」逆手に 第1回は泊りがけ大寒坐禅会も

檜原村の冬の風物

詩、弘沢の滝の水瀑。幻想的な姿を見せる滝や檜原温泉センター数馬の湯などを目当てに冬の檜原観光を楽しむ人が増えたが、かつては地元の観光業者も「冬の寒い檜原村に来る人などいない」と半ばさじを投げていた。記者が水瀑する弘沢の滝を知ったのは、福生市にある地域新聞で広告営業をしていた1986年のこと。写真家、花森俊一さん(当時羽村市、現奥多摩町在住)に写真を見せてもらった。「すごいだろ、きれいだろ」と四つ切を手渡された。

自然が創り業者を訪ねた。異口同音に言われたのが、前の「冬の寒い檜原村に来る人などいない」との言葉だった。

回想 水瀑クイズ誕生秘話

自然が創り業者を訪ねた。異口同音に言われたのが、前の「冬の寒い檜原村に来る人などいない」との言葉だった。ならば寒さを逆手に取ろう。網走市で今も続く流水接岸日当てクイズをヒントに、ひらめいたのが全面結氷日を当てるものだった。村や観光協会、周辺の

観光業者らに協賛を募り、正解者への賞品や特集広告に参加してもらう目論見だった。が、村観光係の反応は鈍かった。「そもそも毎日、滝の結氷具合を見に行くことなどできない」。言われてみればその通り。帰す言葉もなく引き下がった。



水瀑した弘沢の滝。氷の造形美が魅力

しかし、何とか形にしたいという思いは強かった。翌年、あきる野市引田の影山和重さんに打ち明け、まずは行動をと賞品を集め出した。2人で活動するうちに、地元の村おこしグループのリーダー

的存在だった下地龍二郎さんと相談する機会が持てた。「犬の散歩のついでに毎日見に行くよ」。救いの神の一言で最大の懸案が解決。村観光係も1000円のテレホンカード10枚を提供した。行政らしい、訳の分からないものは慎

重という姿勢。「渋いな」の言葉はぐつと飲みこんだ。賞品もしつかり集まり、応募はがきも用意した。自社の新聞に載せる広告特集もまとまり掲載するだけになった。ただ、自社の新聞だけでは西多摩以外に広がらない。影山さん

の伝手で、読売新聞青梅支局の岡田記者を紹介してもらい、記事を書いてもらい、記事を依頼すると快く引き受けてくれた。ニュースになると思ってくれたのだから他紙も多摩版に次々に掲載した。クイズを締め切り、結氷状況に話題が変わると、驚いたことにテレビが夕方のニュース番組で取り上げてくれた。最初はフジテレビ。新聞と同じように他局に連鎖した。クイズは一気に知れ渡り、弘沢の滝も広く知られ、多くの観光者が訪れた。

翌年からは地元の有志らが檜原村小さな冬物語実行委員会を組織。村や観光協会も前向きになった。その後は水瀑まつりも開催されるようになり、主催は弘沢の滝冬まつり実行委員会と名を変え、現在に続いている。ちなみに第1回の年には冬の檜原村に泊ま

志を継ぐ者 創業そして守成

仕事をする父、家での父……、子どもの目に映る姿はさまざま

ある。ときには厳格であり、あるときは優しさにあふれていたはずだ。それらは年齢を重ねるとともに記憶となり、いつの間にか自分の血肉となっていく。

昨年の7月からスタートした『父の背中・先代の仕事と教え』の田村酒造所や石川酒造、小澤酒造。いずれも江戸期創業で現当主は、伝統の味を守るだけでなく、いまの時代に適した日本酒の開

発にも余念がない日々を過ごす。一方、金融やエネルギー

父の背中 北月中 閑話休題

先代の仕事と教え

このほかに地域医療の拠点となる大久野病院、老人ホームの松原苑や羽村の宗禅寺にも足を運んだ。いずれも地元には不可欠の存

1、自動車販売といった業界では近代的な経営戦略も求められる。取材したJA西東京、青梅ガス、ネットトヨタ多摩のトップたちは、先代の築いた事業基盤をさらに発展させるべく日夜努力を続けている。政治の世界ともなれば、国会、市町村議会だけでなく、自治体の首長の代替わりも親子の間で行われる例は多い。その際、大切なのは地盤と看板以上に「志」の継承だろう。インタビューした現職や前職の議員には無私無私の精神が垣間見えた。

誰もが持っているのは、みずから引き受けた道で世の中に役立つという使命感。これこそが先代から学び取った無形の財産なのかもしれない。もちろん、紆余曲折はあったはずである。そんな苦勞を乗り越えさせたのもまた父の背中だったろう。

「父の背中・先代の仕事と教え」の田村酒造所や石川酒造、小澤酒造。いずれも江戸期創業で現当主は、伝統の味を守るだけでなく、いまの時代に適した日本酒の開発にも余念がない日々を過ごす。一方、金融やエネルギー

DUSKIN お部屋のお掃除 お庭のお手入れ

喜びのタネをまこう

プロのおそうじ **ServiceMASTER**

緑と花のお手入れ **Total Green**

ダスキンフランチャイズチェーン加盟店

ダスキン小作店 ☎042-533-4506

〒205-0001 羽村市小作台2-12-1

エアコン清掃

お庭のお手入れ

おうちのお悩みになんでも応えます。

(岡村信良)